

1 国（地域）名：インドネシア

2 選挙権年齢（被選挙権年齢）と成人年齢

(1) 選挙権年齢・法改正年：17歳以上もしくは既婚の国民が持ち、選挙ごとに名簿作成される。

(2) 被選挙権年齢・法改正年：21歳。

(3) 成人年齢・法改正年：21歳。

インドネシアの民法は、未成年者を21歳に達していない未婚の者（婚姻経験のない者）と定めています（民法330条）。選挙権は、インドネシア国籍を持つ満17歳以上の全ての国民に与えられます。また、婚姻経験のある者については、17歳未満でも選挙権が付与されている。（選挙法19条1項）

3 社会系教科目の構造

(1) インドネシアの学校教育制度

6・3・3制、義務教育期間7歳から15歳、【2学期制】7月～12月、1月～6月
インドネシアにおける義務教育は小学校（Sekolah Dasar スコラ）が6年、中学校（Sekolah Menengah Pertama）が3年の計9年である。教育文化省が所管である一般学校の他に、宗教省の管理下にあるイスラム系学校（マドラサ）への入学が可能である。インドネシアの公立小学校では、宗教、公民、インドネシア語、数学、自然学、社会学、芸術・文化、運動・健康などを学ぶ。中学校ではこれに英語や図画工作などが加わる。他方、通称マドラサと呼ばれるイスラム系学校では、イスラム教教育に重きを置いたカリキュラムで運営されている。マドラサは通学制であるがプサントレンと呼ばれる寄宿塾もある。

(https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/01asia/infoC10200.html, 2023.2.28 閲覧)

ア 学校系統図

義務教育は、7～16歳の9年間である。

- ・就学前教育は、4～6歳の幼児を対象に、幼稚園及びイスラム幼稚園で行われる。
- ・初等教育は、7歳入学で6年間、小学校及びイスラム小学校で行われる。修了時には国家試験が行われ、合格者は前期中等教育への進学を認められる。
- ・前期中等教育は、3年間、中学校及びイスラム中学校で行われる。修了時には国家試験が行われ、合格者には、後期中等教育への進学となる前期中等教育修了証IV

学校体系（学年暦：9月～翌年6月）

インドネシアの学校教育制度は、一般学校と宗教の時間を多く取り入れたイスラム学校（マドラサ）の2つの体系から構成されている。

・高等教育（イスラム系の高等教育を含む）は、総合大学のほか、技術分野及び芸術分野で高等教育及び専門教育を提供する専門大学、1つの専門分野で高等教育と専門教育を提供するカレッジ、特定分野で応用科学教育を提供するポリテクニク及びアカデミーで行われる。入学に際しては、中等教育修了証の取得者を対象に、入学試験が行われる。総合大学では、通常4年で学士相当のS1学位、2年以上で修士相当のS2学位、3年で博士相当のS3学位が授与される。専門大学、カレッジ、ポリテクニク及びアカデミーでは、1～4年の課程が

提供されており、1～3年でD1～D4の修了証、4年で学士相当のD4の修了証が与えられる。

V 学校系統図

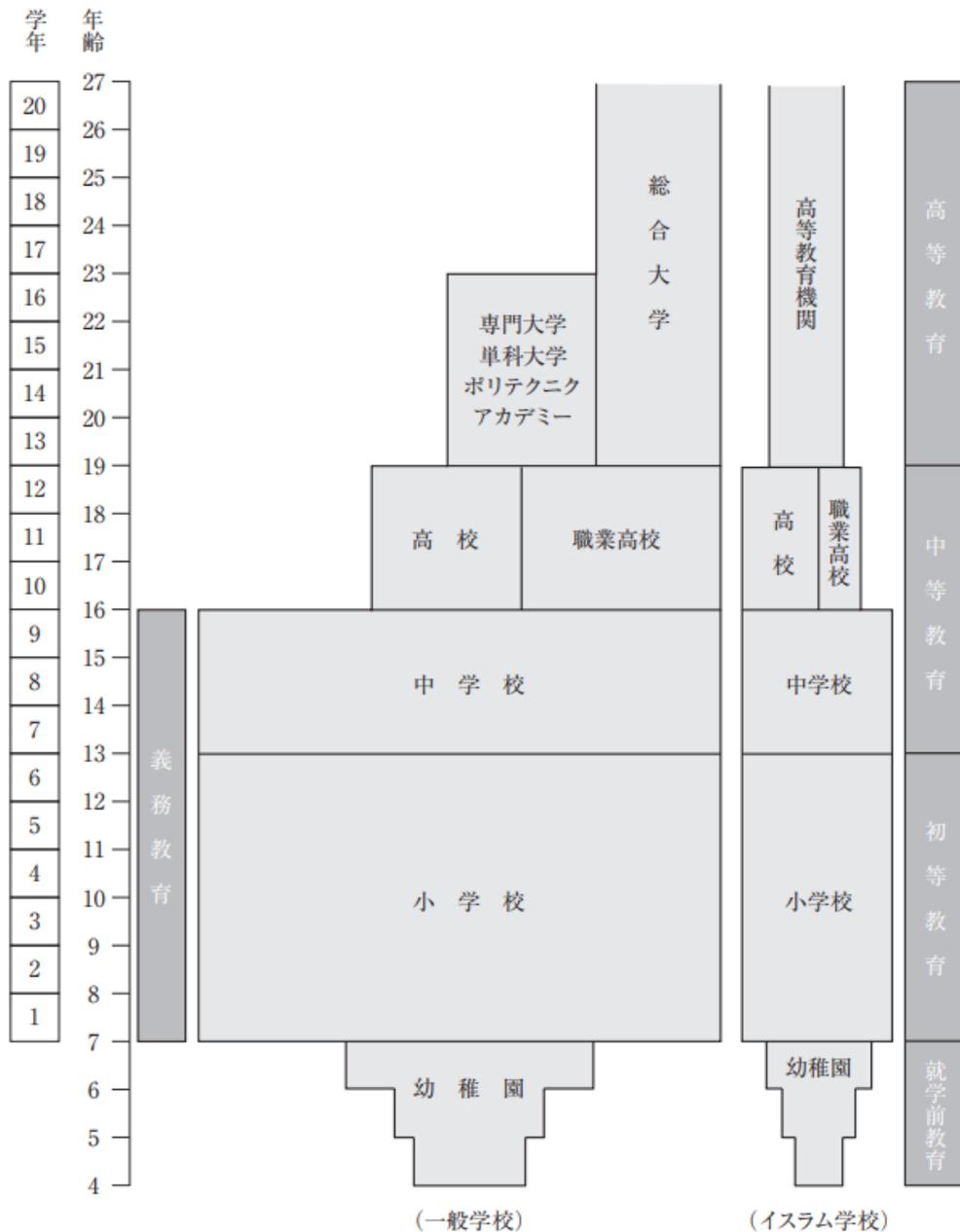


図1 インドネシアの学校体系

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396848_002.pdf 世界の学校体系 (ウェブサイト版) 世界の学校体系 (アジア) 2023.2.28

イ 制度改革

1945年独立後、教育カリキュラムを(1947、1964、1968、1975、1984、1994、1997、2004、2006、2013)10度改訂。前期中等教育は、3年間、中学校及びイスラム中学校で行われる。修了時には国家試験が行われ、合格者には、後期中等教育への進学となる前期中等教育修了証が与えられる。後期中等教育は、3年間、普通教育に重きを置いた一般高校とイ

スラム高校、また職業技術 教育に重きを置いた一般職業高校とイスラム職業高校で行われ、修了時には、一般高校とイスラム高校では後期中等教育修了証が、一般職業高校とイスラム職業高校では後期中等職業教育修了証が与えられる。また、いずれの学校種でも、修了時の国家試験に合格した者には、高等教育に進学するための基礎要件となる国家修了証が授与される。また、教育の普及状況は、少し資料が古いですが、以下のようになっており、高等教育の普及が課題となっている。

II 教育の普及状況

| 教育段階 | 年 | 在籍率 | 性別 | |
|-------|-------|------|------|------|
| | | | 男 | 女 |
| 就学前教育 | 2013年 | 54% | 51% | 58% |
| 初等教育 | 〃 | 106% | 106% | 106% |
| 中等教育 | 〃 | 82% | 84% | 81% |
| 高等教育 | 〃 | 31% | 30% | 33% |

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

《 参考資料 》 UNESCO, World Data on Education, 7th edition, 2010/11
 (https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396848_002.pdf、世界の学校体系(アジア)、文部科学省 2022.12.31 閲覧)

2022年に始まった Meredeka Belajar : ムルデカ・ブラジャール : 自由で自律した学び/教育の規制緩和と5カ年計画が開始されている。小中高校の統一国家試験 (Ujian Nasional) 廃止。JETORO インドネシア教育 (EdTech) 産業調査より

(2) スタンダード

表1 2013年 カリキュラム

| 分野 | 科目 | 小学校 | | | | | | 中学校 | | | 高校 | | | |
|----|---------|------------------------|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | |
| 1 | 教育 | 1 宗教 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| | | 2 パンチャシラと公民 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 3 体育 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| | | 4 家庭科 | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2 | 言語および文学 | 1 インドネシア語 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 2 英語 | | | | | | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 3 | 自然科学 | 1 数学 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 2 物理学 | | | | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 2 | 2 | 2 | | | |
| | | 3 生物学 | | | | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 2 | 2 | 2 | | | |
| 4 | 社会科学 | 1 歴史 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| | | 2 地理 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | | 3 経済学 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 5 | 芸術 | 1 音楽 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 2 絵画 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 3 スキル (Skill) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | | 4 ダンス | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 総時間数 | 1 Pem inatan Akadem ik | | | | | | | | | | 2 | 2 | 2 |
| | | 2 Kelompok Pem inatan | | | | | | | | | | 16 | 16 | 16 |
| | | 総時間数 | 30 | 30 | 30 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 36 | 42 | 42 | 42 |

(出典 : Struktur Kurikulum SD/MI dan Beban Belajar Menurut Kurikulum)

2013年の一連の教育文化大臣規定によれば、2013年 カリキュラムは、「インドネシア人

(manusiaIndonesia) を、生産的で創造的、革新的、情緒的であり、社会的・民族的・国家的な生活および世界文明に貢献することのできる、信仰心をもつ個人かつ国民として準備すること」を目的としている。本カリキュラム基礎となる「考え方」として挙げられているのは、①学習者を中心とした学び、②教師と学習者、社会、自然環境、資源/その他の媒体との間の相互作用的な学び、③関連性をもった学び、④科学的アプローチの学習モデルによって強化されるアクティブで探究的な学び、⑤集団による学び、⑥複数の媒体に基づく学び、⑦学習者の必要に基づき、その特別な能力を強化するための学び、⑧複数の学問領域にわたる学び、⑨批判的な学び、という8つの学習形態である。

(服部美奈他「インドネシアにおける2013年カリキュラムの施行とその展開過程」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)第67巻第2号(2020年度)』p.84)

(3) 社会系教科目の構造

社会科学の分野科目 (Ilmu Pengetahuan Sosial) は、歴史、地理、経済学からなり、地理と経済学は小学校4学年から中学校3年まで週1時間の履修となっている。他方、歴史は小学校・中学校を通して、週1時間、高等学校段階では、2時間の履修となっており、歴史教育に重きをおいていることが窺える。また、教育分野では宗教、パンチャシラと公民があり、後者は小学校段階で週6時間、中学校・高等学校では週2時間となっている。

国の教育文化省所管の一般学校と、宗教省の管理下にあるイスラム系学校があるインドネシアの特徴的な構成となっている。

4 公民系教科目の教育目標・教育内容

(1) パンチャシラ

パンチャシラとは、インドネシアの1945年憲法前文に記される建国五原則。サンスクリット語を語源としている。5つの原則とは、1. 唯一至高なる神、2. 公平で文化的な人道主義、3. インドネシアの統一、4. 協議と代議制において叡智によって導かれる民主主義、5. インドネシア全国民に対する社会的公正。第1の原則においては、イスラム、カトリック、プロテスタント、ヒンドゥー、仏教、さらに儒教を公認宗教としている。スハルト政権の全盛期においては、国民統合・国家開発をめざすなかで、パンチャシラを国民に理解させることが重視され、思想統制の手段としても利用されてきた。1975年のカリキュラム改訂により、「パンチャシラ道徳教育」が正式に学校教育における教科と位置づけられました。(文教大学教育研究所 <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/wp/?p=131> 2022.12.31 一部抜粋)



インドネシアの国章「ガルーダ・パンチャシラ」(Garuda Pancasila)と呼ばれる。これは、胸に盾を抱え、足で巻物を持った金色の神鳥ガルーダである。盾(エスカッション)にある5つのエンブレムは、インドネシアの建国5原則であるパンチャシラを表す。

(2) 「パンチャシラ・公民教育」の目的

表2 パンチャシラ・公民教育（1年生）のコア・コンピテンシーとベーシック・コンピテンシー

| コア・コンピテンシー | ベーシック・コンピテンシー |
|--|---|
| <p>KI-1. 信仰する宗教の教えを受容し、実践する。</p> | <p>1.1. 家と学校で、偉大なる神からの贈り物としての宗教的な生活における個人の人格の宗教性を受容する。</p> <p>1.2. 家と学校で、偉大なる神からの贈り物としての宗教性における平等を受容する。</p> |
| <p>KI-2. 家族、友人、教師、隣人との交流のなかで、正直で、規律があり、責任を持ち、礼儀正しく、配慮ある、自尊心のある行動をとる。</p> | <p>2.1. パンチャシラの価値と道徳の実現として、家族、友人、教師、隣人との交流のなかで、正直で、規律があり、責任を持ち、礼儀正しく、配慮ある、自尊心のある行動をとる。</p> <p>2.2. 家と学校での日々の暮らしのなかで実践される約束事や規則を遵守する行動を示す。</p> <p>2.3. 家と学校で、宗教における平等の行動を示す。</p> |
| <p>KI-3. 自分自身、神の創造物とその活動、家や学校にある事物について、注意深く観察し（聞く、見る、読む）、知りたいという感情に基づいて問うことを通して、事実に基づく知識を認識する。</p> | <p>3.1. 国章「ガルダ・パンチャシラ」のなかのパンチャシラの5つのシンボルを知る。</p> <p>3.2. 家と学校での日々の暮らしのなかで実践される決まりや規則を知る。</p> <p>3.3. 家と学校で、個人の性格の多様性を知る。 3.4. 家と学校で、多様性のなかの統一の意味を知る。</p> |
| <p>KI-4. 明瞭で論理的な言語で、美的な作品で、健康な子どもを反映する運動で、信仰深く高貴な道徳心をともなう行いを反映する行動で、事実に基づく知識を提示する。</p> | <p>4.1. 家の周辺や学校での行動について注意深く観察し、話す。そしてパンチャシラのシンボルを知ることに関連づける。</p> <p>4.2. 家と学校で決まりを実行する。</p> <p>4.3. 家と学校における多様性のなかの結束を注意深く観察し、話す。</p> <p>4.4. 家と学校で個人の性格の多様性を注意深く観察し、話す。</p> |

「パンチャシラ・公民教育」は、市民性教育に近い内容で、国民としての義務・権利のほか、道徳ある国民の育成が目指される。同カリキュラムでは、コンピテンシーの概念、統合的なテーマ学習が導入されており、1年生から3年生までは理科と社会科の内容を、「パンチャシラ・公民教育」、「インドネシア語」、「数学」、「保健体育」などの教科のなかに統合するものとされる。4年生から6年生では理科と社会科を教科として設けつつ、学習においては共通のテーマを設けて他の教科とともに統合して教えることが奨励される。（服部美奈他、前出、p.87）

（3）教科書例

書名：Pendidikan Kewarganegaraan, Untuk SD/MI Kelas 6（小学校6年生向け公民）



左図の教科書は 2009 年度版。

全 4 章構成

第 1 章：インドネシア共和国の基礎としてのパンチャシラについて

第 2 章：インドネシア共和国の政治システムについて

第 3 章：東南アジア地域での国際協力について

第 4 章：インドネシア共和国の対外政策について

教科書の「第 1 章：インドネシア共和国の基礎としてのパンチャシラについて」

http://geo.d51498.com/indo_ka/buku_pelajaran/sd/pkn/sd6/index.html

(2023.2.28)

5 他教科・領域等における教育目標・教育内容

2013 年カリキュラムの特徴として、学習者を中心とした学びや相互関連性を重視した学習形態の改革が挙げられる。そして学際的なアプローチを具体化したものが統合的テーマ学習であった。同時に、教科横断的なコア・コンピテンシーが、精神的態度、社会的態度、知識、技能の 4 つの側面に則して設定され、各教科においてベーシック・コンピテンシーの形で具体化される。これらのコンピテンシーの獲得によって、最終的に各教育段階の卒業時に求められるコンピテンシーが満たされるという構造になっている。(服部美奈他、前出、p.93)

6 特記事項

社会系教科教育学会第 33 回研究発表大会【兵庫教育大学（オンライン開催）】

自由研究発表《オンライン同期型》発表資料抜粋（2022 年 2 月 19 日～3 月 18 日）

峯明秀、中本 和彦、西口卓磨、片山元裕、Nam Ho Yeop、Cha Boeun、Hyungi Cho、Nasution

アジアにおける社会系教科教育に求められる新たな市民性育成教育の調査研究 2

－韓国・インドネシアとの比較－

1 問題の所在

本発表では、「アジアにおける社会系教科教育に求められる新たな市民性育成教育の調査研究 1－調査の概要・日本の傾向－」（社会系教科教育学会第 33 回研究大会自由研究発表（オンライン掲載 2022/2/19～3/18））に引き続き、アジアの社会系教科教育学の研究者・実践者との連携による韓国・インドネシアの子どもたちへの市民性育成の質問紙調査の結果状況を報告する。

2 インドネシアにおける調査結果

(1) 調査の概要

調査方法は、質問紙調査で回答・集計を行った。調査項目は、日本の調査方法に準ずる。民族や人権や政治参加についての質問項目等は追加している。スラバヤ市内の公立学校児童：男性 67 名、女性 80 名、答えたくない・その他 3 名 計 150 名からの回答集計結果を分析する。

(2) 集計結果比較

4(e)あなたは次のそれぞれの活動についてどれくらい関わっていますか？－他国で何が起きているのかについて親と話をすること－

表1 他国で何が起きているかについて両親と話す

| 実数 | ほとんどない | | 月1回 | | 週1回 | | 毎日ほぼ毎日 | | 無回答 | | 合計 |
|--------|--------|-------|-----|-------|-----|-------|--------|-------|-----|------|-----|
| | 数 | % | 数 | % | 数 | % | 数 | % | 数 | % | |
| 日本 | 45 | 31,5% | 43 | 30,1% | 35 | 24,5% | 17 | 11,9% | 3 | 2,1% | 143 |
| インドネシア | 63 | 42,0% | 28 | 18,7% | 29 | 19,3% | 24 | 16,0% | 6 | 4,0% | 150 |
| 合計 | 167 | 29,6% | 160 | 28,4% | 151 | 26,8% | 77 | 13,7% | 9 | 1,6% | 564 |

上記のことから、インドネシアと日本との比較では、他国で起きていることについて両親との会話がほとんどないとする回答が42%を示す。他方、毎日両親と他の国について話している子供の割合は、日本よりわずかであるが16%と高いことが示される。インドネシアでは、中流階級の家族はよりオープンで、外国を参考にすることが多いと考えられる。子供たちの家族の社会的・経済的背景からさらに調査する必要がある。

表2 良い大人になるためには、次の行動がどれほど重要ですか？

政治的および社会的問題に関する議論に参加する

| | とても重要 | | 少し重要 | | あまり重要でない | | ほとんど重要でない | | わからない | | 無回答 | | 合計 | |
|--------|-------|-------|------|-------|----------|-------|-----------|------|-------|-------|-----|------|-----|-------|
| | 数 | % | 数 | % | 数 | % | 数 | % | 数 | % | 数 | % | 数 | % |
| 女性 | 20 | 13,3% | 20 | 13,3% | 7 | 4,7% | 2 | 1,3% | 26 | 17,3% | 5 | 3,3% | 80 | 53,3% |
| 男性 | 20 | 13,3% | 16 | 10,7% | 11 | 7,3% | 3 | 2,0% | 13 | 8,7% | 4 | 2,7% | 67 | 44,7% |
| その他 | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% |
| 答えたくない | 0 | 0,0% | 1 | 0,7% | 1 | 0,7% | 0 | 0,0% | 1 | 0,7% | 0 | 0,0% | 3 | 2,0% |
| 無回答 | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% | 0 | 0,0% |
| 合計 | 40 | 26,7% | 37 | 24,7% | 19 | 12,7% | 5 | 3,3% | 40 | 26,7% | 9 | 6,0% | 150 | 100% |

表2では、小学生が大人になり、社会や国の意思決定に関与することについて、どのように思っているかを表している。表から、女子と男子の両方が、政治問題に関する議論に参加することは重要であると考えていることが分かる。総数と比較すると、参加にとても重要と回答をした男女の割合は同じで、13.3%である。性別ごとの総数と比較すると、とても重要と答えた女子生徒の割合は25%であり、男子生徒は29.85%である。わからないと答えた女子生徒の割合は17.3%（女子生徒のみのデータでは32.5%）で、一方、わからないと答えた男子生徒の割合は8.7%（男子生徒のみのデータでは19.40%）である。

以下、表1・2に関する現時点の考察である（Nasution）。

表1に関し、インドネシアで考慮しなければならないことが2点ある。1点目は、家族における子育てのパターンと、2点目に初等教育の段階に使われた公民科教育のモデルと学習教材である。家族の子育てパターンに関して、ヒルドレッド・ギアツ(Hildred Geertz) (1985)

は、特にジャワ島の家族における家族間の関係について多くのことを論じている。(ジャワ民族はインドネシアにおける最大の民族で、2010年の国勢調査[1]に基づく割合においては40.22%を占める。) ギアツは、子供と親の関係は実際には平等的な関係ではなく、礼儀正しさと敬意を持って構築されていると指摘している。親と話すことに関しては、尊敬がキーワードとなる。子供の頃から、子供たちは大人同士の会話において、割り込まないように教えられ、話す場合は先に両親や大人が話終わるのを待ってから話すことになる。自分の家族の環境では、家族間の会話はヒエラルキー的に行われ、親は家族の会話の中心であり続けるのである[2]–[4]。このようなパターンは、インドネシアの他の民族グループと大差はなく、よく見られる傾向である[5]。

しかし、現代において、特に都市部のコミュニティでは変化が見られる。親と子の関係はよりオープンになり、もう少し平等的で民主的なものになっていると考えられる。その度合いは両親の学歴と職業によって変化し、子供たちは意見を述べたり、ある問題について話したりすることができる。一緒に食事をするとき、子供たちはその日に何をしたかをお互いに話し、親は話に耳を傾け、その後、何かがうまくいかない場合や間違っている所があれば、両親は訂正やアドバイスをする。しかし家族内での会話は、家族間およびそれぞれの環境における友人関係の話に限定されている[2]。

インドネシアの親がまだ小学校に通っている子供たちと話すときは、政治の話題、特に他の国で何が起きているかについては避けている。これは、インドネシアで今まで起きた政変、特に1965年から1966年の出来事における政治的トラウマに関連している[6]–[9]。上記の話題は、17歳に近づいたときのみ議論されるようになる。その年齢では、子供たちは選挙で投票する権利を行使することができるからだ。他の国についての話題は通常、宗教、技術の進歩、病気に関連することが多い。サントリ（サントリは一般的に、イスラム寄宿学校でイスラム教の宗教教育を受けている人を指す）コミュニティでは、サウジアラビアがよく話題にする国の一つで、聖地巡礼に関連しているためである。一方、非サントリの人々の関心は情報技術についてや最近では、新型コロナウイルスの発生について、参照国は、ヨーロッパ諸国、米国、日本、中国などがある。

2点目は、インドネシアの初等教育での他国についての教育である。他の国々、特にASEANの近隣諸国についての議論は、6学年1学期目の社会科の授業で教わる。授業にあげられるのは、歴史的問題、地理的条件（自然な外観）、社会経済的および政治的条件に関するものである。教師は、課題や宿題において、生徒が両親に尋ねるよりも、文学やインターネットメディアを使って掘り下げることを好む。最も簡単な方法では教材またはワークシートを使用し、学生は図書室に行き、問題の国に関する情報を探す。インターネットが整備されている場合、学生はコンピューター室、または図書室で携帯電話またはコンピューターを使用することができる。後者の条件は、特に都市部の小学校で見られ、インドネシアのすべての学校に存在するわけではないことを留意する必要がある。コロナ過(2020-2021)の状況では、インターネットから掘り下げることによる割り当てモデルがより多数を占めており、したがって、両親に他の国で何が起きているかについての質問や議論はあまり行われていない。特にインターネット上の情報を理解するのに限界がある場合、生徒らの何人かは両親に尋ねることがある。インターネットは主な情報源であり、多くの場合、親の役割に取って代わるが、限定的な場面においては、子供は親からの口頭での情報を必要とすることがある

のだ。そのような場面において、生徒らは検索エンジンで検索する必要がなくなる。

表2に関し、政治的参加についての想像力、特に政治的および社会的問題に関する議論への関与は、政治的認識および成人期における政治参加について観察するために非常に重要になる。表中に見られるパターンについては、次のことが考えられる。政治的および社会的問題の議論と同様に、政治はインドネシア社会の公共の一部である。インドネシアのような家父長制の文化では、公共における男性の役割が大きく求められ、議論と政治組織への関与は男性としての役割の一つになっており、そのため公共は男性が占める空間になっている。家父長制の文化は宗教の影響が強く、インドネシアの宗教文化は、性別に基づいた役割の区別を提示している事は事実である[10]、[11]。そして、この質問でわからないという回答は、公民科および/または社会科教育が実際に社会の政治プロセスの適切な初期理解を提供しているかどうかの指標となる。政治的および社会的問題についての議論は、それを実際にした時点で政治活動の一環として数えられる。わからないと回答した割合から、生徒らは政治的および社会的議論への関与についてまだよく理解、想像できていないことが分かる。子供たちの間でインドネシア社会の政治をテーマに話すことは一般的ではない。政治的および社会的問題は大人、特に男性の領域であるため、生徒らもまたそれについて具体的な想像ができず、したがって、わからないと答える。

【参考文献】

- [1]A. Na'im and H. Syaputra, *Kewarganegaraan, Suku Bangsa, Agama, Dan Bahasa Sehari-Hari Penduduk Indonesia. Hasil Sensus Penduduk 2010*. Jakarta: Biro Pusat Statistik Indonesia, 2011.
- [2]H. Geertz, *Keluarga Jawa*. Jakarta: Grafiti Pers, 1985.
- [3]R. Baiduri and A. Yuniar, "Pola Pengasuhan Keluarga Etnis Jawa Hasil Pernikahan Dini Di Deli Serdang," *Jurnal Antropologi Sumatera*, vol. 15, no. 1, p. 7, 2017.
- [4]Sutarno, Soetomo, Wahono, A. D. Karmadi, and Pratikno, *Pola Pengasuhan Anak Secara Tradisional Daerah Jawa Tengah*. Jakarta: Departemen Pendidikan dan Kebudayaan, Direktorat Sejarah dan Nilai Tradisional, Proyek Inventarisasi dan Pembinaan Nilai-nilai Budaya, 1989.
- [5]D. Mahastuti, "Pola Pengasuhan Yang Berdasar Budaya, Agama Dan Neurosains," *Al-Qalb*, vol. 8, no. 1, p. 6, 2016.
- [6]P. Barron, S. Jaffrey, B. Palmer, and A. Varshney, "Understanding Violent Conflict in Indonesia :," in *Social Development Papers. Conflict, Crime and Violence*, Washington, D.C., 2009, p. 58. [Online]. Available: <http://documents.worldbank.org/curated/en/935531468258847009/Understanding-violent-conflict-in-Indonesia-a-mixed-methods-approach>
- [7]J. Betrand, *Nationalism and Ethnic Conflict in Indonesia*, 1st ed. Cambridge: Cambridge University Press, 2004.
- [8]R. Lemelson and A. Tucker, *Widening the Frame with Visual Psychological Anthropology: Perspectives on Trauma, Gendered Violence, and Stigma in Indonesia*. Cham: Springer International Publishing, 2021. doi: 10.1007/978-3-030-79883-3.

- [9]Z. Abuza, Political Islam and violence in Indonesia, 1st ed. New York: Routledge, 2007.
- [10]J. Butler, J. Habermas, C. Taylor, C. West, Eduardo. Mendieta, and J. VanAntwerpen, The Power of Religion in the Public Sphere. 2011. doi: 10.1093/jaarel/lft026.
- [11]A. Brooks, Women, Politics and the Public Sphere. Policy Press, 2019.

7 日本への示唆（提案）

多様な民族からなる社会において、5つの原則からなるパンチャシラを基本とする思想、考え方がインドネシアの特徴である。多様性の中での社会的公正をどのように考えるのか、日本の公民教育の今後について議論を深める必要がある。また、大多数の国民がスマートフォンを所持しており、統一国家試験もコンピュータベースで行われるなど、かねてから教育のICT化が進められていることも、これからの教育のあり方について示唆を得られよう。

参考文献

- ・インドネシア共和国 https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396848_002.pdf
- ・村井吉敬・佐伯奈津子・間瀬朋子『現代インドネシアを知るための60章』明石書店、2013.
- ・加納啓良『インドネシアの基礎知識』めこん、2017.
- ・服部美奈他「インドネシアにおける2013年カリキュラムの施行とその展開過程」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）第67巻第2号（2020年度）』2021、pp.83-96
- ・<https://www.kemdikbud.go.id/main/blog/2016/03/153-narasumber-nasional-siap-latih-instruktur-nasional-kurikulum-2013>、インドネシア教育文化省
(<https://www.kemdikbud.go.id/main/2022.12.31>)

峯 明秀（大阪教育大学）